

授業科目名 <英訳>	イスラーム世界論研究Ⅰ The Study of the Islamic World I				担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖 アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 長岡 慎介					
配当 学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	火4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
本講義は、イスラーム世界研究のディシプリンの基礎としてのイスラーム学について、その基礎を修得するとともに、基本問題についての表現・発信能力を身につける。各テーマに関して、基本的な問題を論じると共に、学界および研究の現状を踏まえた論議は行うが、大学院の授業であり、入門的事項は扱わない。											
[到達目標]											
イスラーム思想の基礎的な問題について、正確に知り、理解することを目標とする。イスラーム学はアラビア語を根幹として作り上げられてきた学問なので、概念・術語をアラビア語でどう表現するかはとくに重要である。											
[授業計画と内容]											
イスラーム学の主要なテーマについて、(a) 講義を行う。必要に応じて、(b) ゼミ、(c) 講評会を行う。 以下のようなテーマを扱う。文献記入法、ユダヤ教、キリスト教、クルアーン、イスラーム神学、シーア派、スーフイズム、哲学、その他。 (a)講義は、参加（出席、質問）を主とする。事前にリーディングが指定されていないときは、特に準備は必要ない。(b)ゼミは、指定されたテキストについて、全員が発表を行う。レジュメまたは発表原稿を必ず用意すること。一人あたりの持ち時間は7分程度。(c)講評会は、指定された原稿を書いたものを持ち寄り、講評を受ける。書かれた原稿を読み上げる以外に、各自の持ち時間はない。なお、言うまでもないが、他人の書いたものを丸写ししたり、どこを引用したか分からないような形で用いることは「剽窃」となる。正規のルールに基づく「引用」は可。											
[履修要件]											
授業開始以前に、東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社（世界史リブレット15）、小杉泰『イスラームとは何か その宗教・社会・文化』講談社（講談社現代新書）を必ず読了しておくこと。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
以下の4点を総合的に判断する。(1) 講義への参加（出席、質問、討論）。(2) ゼミでのテキスト講読、発表。(3) 講評会での「原稿」提出。(4) 文献リストの作成（イスラーム学＋自己テーマ）											
[教科書]											
使用しない											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学習（予習・復習）等]											
前回の講義で指示された課題がある場合は、それをプリントアウトしたものを提出する。 #160 （その他（オフィスアワー等）） オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											